

「緊急事態宣言」に抗して

5・1メーデーへ

- ☆非正規差別撤廃！首切りゆるすな！
- ☆会計年度任用職員制度廃止！
- ☆8時間労働制の再確立を！
- ☆全国最賃 1500 円をかちとろう！
- ☆一律 30 万円を即刻支給せよ！
- ☆反戦・改憲阻止！

ニュース

全関東

2020年
4月25日
VOL. 47
No 3

東京都台東区小島 1 - 8 - 7

Zenkan1972@yahoo.co.jp TEL 03(3863)3433

全関東単一労働組合本部

15時～16時 松戸市役所前メーデー行動

(14時45分 松戸市役所集合)

松戸市に抗議申入れ アピール

*千葉学校合同・吉田組合員の継続雇用拒否
& だまし討ち解雇撤回の申し入れ

*全関東松戸分会の会計年度任用職員制度と
コロナ感染対策の申し入れ

16時15分 デモ出発 (小根本公園集合)

(松戸市役所近くで流れ解散 約30分)

17時 庁舎前ビラまき

呼びかけ：全関東単一労働組合

2020メーデースローガン

- ★労働者の解放めざし、
闘うメーデーをかちとろう！
- *世界の労働者と団結し、
8時間労働制を再確立しよう！
- *「過労死」促進の労基法36条を
廃止しよう！
- *全国一律最賃制をかちとろう！
- *時給1500円をかちとろう！
- *有期雇用廃止・派遣法廃止！
- *会計年度任用職員制度廃止！
- *労働条件の均等化をかちとろう！
- *セクハラ・パワハラを根絶するぞ！
- *非正規差別・女性差別撤廃！
- *ストライキ・職場放棄で闘おう！

- ★「新型コロナ特措法」—「緊急事態宣言」弾劾！「自粛」を強要するな！
- *「コロナ」に名を借りた解雇をやメ
ロ！職場に戻せ！
- *休業補償、賃金を全額補償せよ！
- *1人に即刻一律30万円支給せよ！
- *医療現場に治療にあたる人員と
機材を即刻確保せよ！
- *感染防止策を徹底しろ！
- *PCR検査を受けさせろ！
- *差別・排外主義をやめろ！

- ★天皇制を廃止しよう！
- *元号を廃止しよう！
- *「国家神道」儀式をやめろ！
- *「立皇嗣の礼」反対！
- *上皇・天皇・皇嗣皇太子体制反対！

- ★憲法改悪を阻止しよう
- *9条改憲反対！
- *緊急事態条項新設反対！
- *改憲発議を許すな！
- *国民投票反対！

- ★社会保障切り捨てをやめるすな！
- *「全世代型社会保障制度」解体！
- *医療・介護・年金制度改悪反対！
- *改悪入管法反対！
- *技能実習制度撤廃！
- *外国人労働者差別反対！
- *入管体制解体！

- ★日米安保を破棄しよう！
- *戦争法・共謀罪を廃止しよう！
- *新防衛大綱反対！
- *軍事費の拡大ゆるすな！
- *辺野古新基地建設阻止しよう！
- *土砂埋め立てをやめろ！
- *普天間基地を無条件で返還せよ！
- *琉球諸島への自衛隊配備反対！
- *宮古島・石垣島・与那国島・馬毛島に
軍事基地建設反対！
- *オスプレイ配備・訓練反対！
全基地撤去！
- *アイヌ民族、琉球民族の自決権支持！
- *白老慰霊研究施設反対！
- *北方諸島の併合反対！

- ★福島原発事故被災者の切り捨てを
許すな！
- *政府と電力会社・関係資本の責任で
被災者の労働と生活を保障せよ！
- *原発再稼働反対！
- *全原発・再処理施設の廃棄を
かちとろう！

- ★新自由主義グローバリズム反対！
- *東京オリンピック・パラリンピック反
対！
- *国際連帯で闘おう！

労働者国際連帯で闘おう

今こそ世界の労働者の歴史的な闘いに学び、「8時間労働制」の再確立をかちとろう。

国際連帯を掲げ、全国一律最低賃金時給1500円をかちとろう。非正規差別・女性差別撤廃！労働者階級の解放をめざし、5・1メーデーとともに闘おう。

営業を休止し、徹底した安全確認を行え

介護職場から

私が勤務する職場（通所介護職場）と同系列のS通所介護職場で、新型コロナウイルス感染症の陽性者が確認された。しかし、法人は職場において同陽性者との「濃厚接触者はいない」として、施設の消毒をただで通常営業をおこなっている。S職場に勤務する労働者からは不安と怒りの声が寄せられている。

S職場で陽性と判定された労働者は、Wワーク先の職場で陽性者が確認されたことから4月18日から自宅待機してPCR検査を受け、4月22日に陽性と判定された。当該労働

者は4月15日、16日とS職場で勤務している。Wワーク先の労働者が感染を疑われたのは4月11日でその労働者は翌12日からは出勤停止となっている。

ところが、当該労働者は「無症状病原体保有者」であるとしながら、「発症日」は4月19日なので、S職場では濃厚接触者は存在しないとして通常営業を継続しているのである。「無症状」なのになぜ「発症日」が4月19日なのか、そのことについて何ら説明されていない。しかもこのことを行政（渋谷保健所）も認め、通常営業を容認しているのだ。

「無症状」なのだから何時感染したかは不明であり、少なくともWワーク先の労働者が感染を疑われ出勤停止となった4月11日に遡って接触者をチェックし追跡する必要があるのだ。

*

この間、新型コロナウイルス感染症が拡大し蔓延する中で通常営業は感染リスクが高く、特に高齢者施設における集団感染は高齢者の命に直結する重大な問題である。このため、サービスを必要とする利用者とサービス時間の縮減、休業時の賃金補償、マスク、消毒剤の確保などを数度に亘って申し入れを行ってきた。しかし、法人は一顧だにせず、利用者や労働者の安全・健康確保をないがしろにした儲け第一の経営が続いている。S職場が直面している状況は法人全職場の問題でもあり、感染者が確認された際の営業休止、接触者検査と安全確認、賃金補償などを改めて申し入れることにしている。

（介護職場：K）

闘うメーデー復権かちとれ

5月1日は労働者が国際連帯で闘うメーデーだ。1886年5月1日、アメリカの労働者が「8時間労働制」を要求してゼネラル・ストライキで立ち上がり、命がけで闘いとった。1889年の第2インターナショナル（国際社会主義者大会）創立大会で、翌年5月1日に「8時間労働制」を要求するゼネストを呼びかけ、国際連帯闘争日とした。以降、毎年世界各地でメーデーが闘われている。

日本では1920年5月2日、「失業の防止・最低賃金制の確立・8時間労働制・シベリア即時撤兵等」を要求して第1回メーデーが取り組まれた。しかし1936年に戒厳令が敷かれメーデーは10年間禁止された。その間に「労使一体」「産業報国」を理念とする翼賛運動が推し進められほとんどの労働組合・労働者は侵略戦争に加担していった歴史と責任がある。したがって、メーデーは労働者の基本的権利を闘いとする国際連帯闘争日であるとともに反戦国際連帯闘争として極めて重要である。

天皇制強化―戦争国家化阻止

安倍政権は、侵略戦争責任をとることなく改憲を進め、天皇を元首とする戦争国家づくりを目指している。昨年のメーデーには新天皇即位をぶつけてきたが、私たちは天皇制廃止を掲げ、反天皇制メーデーを闘った。

今年「新型コロナウイルス感染」に乗じて「新型インフルエンザ特措法」を改悪して4月7日、「緊急事態宣言」を発出した。あらゆる運動が「自粛」を強いられ、メーデーつぶしの攻撃がかけられている。こうした中で、日米安保体制強化のもとで辺野古新基地建設や南西諸島への軍事基地化が強行されている。安倍政権は何としても「東京五輪」開催をもつて国威発揚、天皇制強化を軸に改憲・戦争国家確立を果たそうとしているのだ。

改憲阻止・安倍政権打倒

「働き方改革」の一環である会計年度任用職員制度は公務非正規労働者の労働基本権をはく奪し、「パートタイム・有期雇用労働法」とともに低賃金と差別雇用を固定化するものである。無権利低賃金労働力として外国人労働者を拡大導入する一方で「緊急事態宣言」では非正規労働者が真っ先に解雇され生活保障もなく路頭に放り出されている。企業へは巨額の「補償」はしても労働者には「マスク2枚」で済ませようというのだ。関西生コン支部への大弾圧で労働運動を「萎縮」させて一挙に「緊急事態条項」新設などの憲法改悪に着手しようとしている。差別と貧困、排外主義の戦争と改憲に突き進む安倍政権を打倒しよう。